

NO **2065** レジメン名 **IsaPd【2コース以降用】**

病棟 患者番号 氏名	癌種	ステージ	PS	クール数	指示医師名
				~	
年齢	身長	体重	体表面積	GFR(血清クレアチニン値)	
歳	cm	kg	m <sup>2</sup>	ml/min (mg/dl)	

【適応がん種】多発性骨髄腫	isa/POM/DEX	CCr補正	GOT補正	T-Bil補正	【病状】 1 全て説明している 2 病名は説明しているが、詳しい病状については説明していない 3 未告知である 【治療】 1 抗癌剤による治療・予防と説明 2 抗癌剤とは言わず治療薬と説明 3 抗癌剤とは言わず予防薬と説明 4 薬に関しては説明していない 平成20年7月1日 改訂
1・サークリサ 10 mg/kg DAY1. 15		-	-	-	
2・ポマリスト 4 mg/body DAY1~21					
28日(4週)1クール		WBC基準	HGB基準	PLT基準	

NO	薬品1	規格	本数	薬品2(規格本数)	時間・投与法
①	カロナール錠200mg 4錠 内服 (前投与 オーダー不要)			②と同時に内服	
	デキサメタゾン6.6mg		6 本	→75歳以上は3本に減量	①と同時に 15分で点滴
②	ファモチジン20mg ネオレスタール10mg		1 本 1 本	★生食50mL	
③	生食50mL		1 本		②終了後 15分で点滴
④	サークリサ( )mg	100mg	本	生食250mL ★全量で250mLになるように調整★	③終了後~ 裏面参照
		500mg	本		
⑤	生食50mL		1 本		④終了後 全開で点滴
⑥	レナデックス(4)10錠 (75歳以上は5錠に減量) (別途処方が必要)			Day8. 22 朝食後内服	

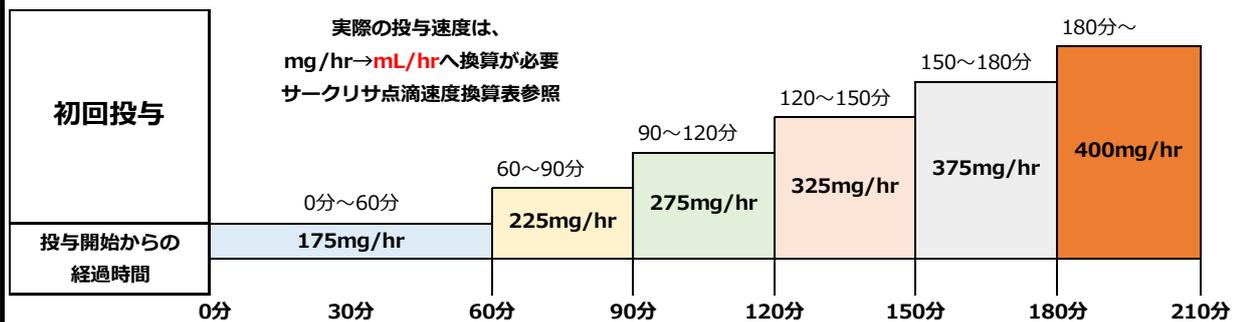
【看護師注意事項】  
○点滴セットはインラインフィルター付きのPVCフリーの輸液セットを使用

【注意事項】  
□サークリサ投与中は間接クームス試験が偽陽性になる可能性がある (サークリサが赤血球上のCD38と結合するため)  
□サークリサ投与前に不規則抗体のスクリーニングを含めた一般的な輸血前検査が望ましい  
□サークリサによる間接クームス試験の干渉を回避するためには、ジチオスレート(DTT)処理を考慮すること

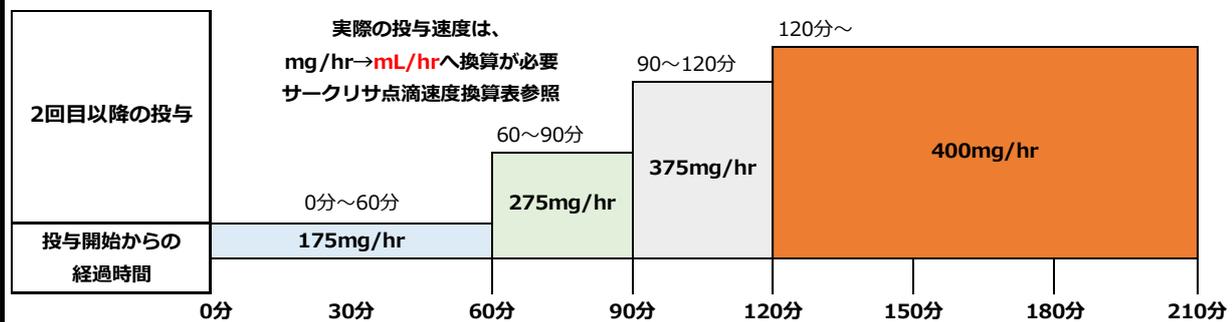
										202202作成		
月日	指示			指示医	受け	監査	払い	払監	調製	調監	前確	実施
	①~⑤			DAY1								
	⑥のみ内服			DAY8								
	①~⑤			DAY15								
	⑥のみ内服			DAY22								

**【点滴速度】 点滴速度(mL/hr) = 下記投与速度(mg/hr) × 25 / 体重(kg)**

●下図の投与速度に従って点滴静注する。  
 インフュージョンリアクションを認めない場合は、投与速度を段階的にあげることができる。



●初回でインフュージョンリアクションがなかった場合は、2回目以降はさらに投与速度をあげることができるが、  
**必ず 175mg/hrの投与速度から開始し、段階的にあげる。**



- インフュージョンリアクションが発現した場合、Grade 2はGrade1 以下になるまで休薬する。
- 症状が改善した場合は、87.5mg/hr の投与速度で再開する。
- 再開後もインフュージョンリアクションの再発がなかった場合は、慎重に投与速度をあげることができる。

